

話題の新刊 おすすめの本

家計簿の中の昭和

澤地 久枝 作



著者からすれば、いつしか習慣になり何十年も続けてきただけという家計簿が、そのまま自分史になっている。出納記録帳の行間には、過ぎ去った日々のいきいきとした生活が垣間見える。

ひよこのコンコンがとまらない

ポール・ガルドン 作



ひよこのタッペンがのどにたねをつまらせてしまった！はやく、水をのませなくては！めんどりのコッコさんは、水をくむコップを手にいれるためにおおいそがし。くりかえす言葉が楽しい絵本です。

わにわにのごちそう

小風 さち 文・山口 まお 絵



大きなからだのわにのわにわに。わにわにのごちそうって、なに？かわいらしく変身なんかさせていないわにの絵ですが、読み終わるころにはなんとなくかわいらしく思えてしまう。人気の絵本です。

図書館へでかけよう。

【休館日】 10/1(月)8(月)15(月)22(月)29(月)

【月末整理】 31(水)

【読書週間行事】「本のカバーかけ」

日時 10/25(水)26(金)27(土) 13時～15時

場所 中央公民館

もってくるもの ・カバーをかけたい本2、3冊
・ハンカチ1枚



その他 おすすめの本

成人向き

- ◆銀しゃり (山本 一力)
- ◆95歳からの勇気ある生き方 (日野原 重明)
- ◆86歳、こころ若く生きる (清川 妙)
- ◆感動する脳 (茂木 健一郎)
- ◆和のしきたり (新谷 尚紀)

児童向き

- ◆天狗 (たかし よいち)
- ◆砂漠の歌姫 (村山 早紀)
- ◆「おめでとう」をいっぱい (宮川 ひろ)
- ◆曲芸師 (ヤコブ・ヴェゲリウス)
- ◆恐竜研究室へようこそ (林原自然科学博物館)

〈ぼく、給食当番、きらいです〉

ぼくは、中学一年生。ぼく、給食当番きらいです。だって、友達みんな、ぼくの給食当番がきらいだろうと考えるからです。

ぼくは生まれつき、アトピー性皮膚炎という病気で、いつも、皮膚がかさかさしています。薬を飲んだり、ときどき病院にいきます。ぼくは、いつも清潔にしているように心がけています。

しかし、ぼくが、食器などにさわることを、友達は、気にしているのではないか、いやがっているのではないかと思うと、食器を手にするのが億劫(オックウ)になるのです。ぼくは、みんなが、食事を楽しんでもらいたいのです。

＊「ともに生きる」うえで、大切なことは、相手のことを「おもいやる心」です。また「おもいやる心」に気づく心も大切です。その人の言葉や行動だけでは分かりにくいことも、たくさんあります。率直に話し合い、分かり合うことが大切でしょう。

中島弘之



126

市民文芸

《麦の芽短歌会 多久麦の芽互選》

友の計報届きし朝さきそめし

カサブランカの雨に傾く

川浪 信子

高窓にそそり立ち見ゆ百日紅

ピンクの花房たわわに揺らし

小池千恵子

海灯り細い汽笛に波の音

親子の思い出つきることなく

迎 寿代

これからは仲良く暮らす心算でも

夫は益々気短になり

福島那智子

暴走族炎暑の辛さ逆撫でし

駆け抜けてゆく七月真昼

内田 龍子

《楷樹句会 楷樹句会互選》

願ひ事半ばに星の流れけり

不二見恵美子

亡き人を恋ふも詮なし月見草

山口 秋子

暑氣払ふ色すつきりと立ちあおい

野田キヌ子

終戦忌まだ基地多し占領下

大坪 豪仁

点眼のあと紺碧の秋の空

松尾 弧杖

《多久川柳会 田代まつこ選》

探しものばかりしている四畳半

松下 修

い、事だけを今日も聞いているエビス様

井上 東子

ご飯時早く切ってよ長電話

猪ノ口東子

しょうがないで大臣の首軽くとび

大谷 和子

亡父の日記こまめに書いてあり

田代 弘子